

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第498号

5月号 TOPICS

春のPR号

今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

「現役世代」の負担軽減と言っているけど…
政府は全世代の負担増を狙っている

●紹介状なしで病院を受診した場合に追加負担
●受診するたびに一定金額を窓口負担(1~3割)に上乗せ
●花粉症治療薬、湿布、漢方薬などは保険から外す
●2008年以降の増額の一環

日本は高齢化の割合に、
社会保障にお金をかけていない

社会支出の対GDP比(2015年)の国際比較

国	対GDP比(%)
日本	22.2
アメリカ	19.1
イギリス	22.7
ドイツ	27.1
スウェーデン	26.8
フランス	32.1

署名の力で
ストップ!負担増

75歳以上の高齢者窓口負担を、2022年後半から2割化することを柱とした医療制度改革関連法案について、政府は4月8日衆院本会議で趣旨説明を行った。法案に反対する立憲民主党の対案も並行して審議される。

政府は、高齢者の負担増により現役世代の負担を軽減することが目的と説明するが、現役世代の負担軽減

署名ハガキ付きミニリーフ
切手を貼らずにポストへどうぞ
注文は協会まで(TEL 023-642-2838)

署名の力で負担2倍化ストップ! 高齢者の不安増やささないで

3月から患者さんに署名をお願いしています。署名を見せると、患者さんと「2割負担になると、家族への気兼ねもあり、通院を控えなければいけなくなる」、「年金が減っているの」に負担が増えるのでは、病院へ行けなくなる」などの会話になり、みなさん署名に応じてくれます。

75歳以上の高齢者は複数の医療機関を受診されている方が多く、受診控えによる健康状態の悪化が心配です。

政府にはこうした高齢者の声や署名の重みを受け止め、負担増ではなく軽減の方向へ舵を切っていただきたいと思えます。

75歳以上2割負担反対署名に取り組む田中雄二先生(米沢市 田中クリニック院長)のお話

75歳以上の高齢者窓口負担を、2022年後半から2割化することを柱とした医療制度改革関連法案について、政府は4月8日衆院本会議で趣旨説明を行った。法案に反対する立憲民主党の対案も並行して審議される。

政府は、高齢者の負担増により現役世代の負担を軽減することが目的と説明するが、現役世代の負担軽減

医療・歯科診療所、病院向けスタッフセミナー Web 配信のご案内
「患者接遇」「院内コミュニケーション」対策
マスクを突き抜ける笑顔で「劇的ビフォーアフター」を
～患者さんとの接点に大きな差を生む小さな知恵と工夫～

講師 / ホスピタリティ開発トレーナー
木島 上 氏 (きしま たかし)

■ コミュニケーションの質を劇的に高める「ホスピタリティ発想」
■ 対人コミュニケーションのHop, Step, Jump!
■ ビジュアルや動作、声と言葉遣いを磨くためのささやかなコツ

講演時間 1時間40分 **その他、明日から役立つヒントが満載!**
視聴期間 **2021年5月10日(月)～31日(月)**
対象 会員医療機関の医師・歯科医師、看護師、歯科衛生士、看護助手、歯科助手、受付事務ほか、全ての医療機関職員

視聴無料 事前申込が必要 視聴方法 YouTubeによるWeb配信方式 ※インターネットによる視聴環境をご準備ください

◆お申し込みについて
1) 1医療機関、何名様でもお申し込みが可能です。
2) お申し込みは下記に必要事項をご記入のうえ、FAX で送信してください。申込書到着後、申込人数分の研修資料とアンケート、セミナー視聴に必要なIDとパスワードを郵送でお送りいたします。

◆Webセミナー視聴について
1) インターネットに接続できる環境とセミナーに参加する端末(パソコン、タブレット、スマホ等)をご準備ください。視聴期間中いつでもご覧いただけます。
2) 視聴後、6月6日(日)までにFAXでアンケートのご返送をお願いいたします。

お問い合わせ先: 山形県保険医協会 TEL 023(642)2838
〒990-0043 山形市本町2-1-2 フコク生命ビル2F <https://www.hokeni-yamagata.jp/>

春のPR号

ぜひご入会ください

6面

会員の声 私も入会をおすすめします
頼れる共済制度のご案内

申込期間 締切間近!

1964年に発行された「復活の日」が話題になっているのを知っていますか。今の状況を予言しているような物語です。あらすじは、某国が作った生物兵器が輸送中雪山に墜落し、細菌に仕込んだ殺人ウイルス(M.M.88)が雪解けと共に全世界に広がっていく。そして、世界中の人々が次々に息絶え、残るのは南極に暮らす一人になっ

4月末現在、協会に寄せられた負担2割化反対署名は875筆。署名ハガキ付きミニリーフは2258枚活用されています。全国から集まった署名は国会へ届けられます。ぜひ待合室などに置いていただき、署名の輪を広げてください。

高年齢者はすでに3割負担となつていて、単身年収200万円以上という線引きは所得上位30%を当てはめただけで、負担能力が高いとはいえない。法案を拙速に審議するのはなく、国民の現状に目を向け、意見に耳を傾けることが必要である。

「日本沈没」の作者は誰か分かるでしょうか? そうです、SF作家小松左京氏です。最近、